



異世界人が俺の家を 活動拠点とするらしい!?

ISEKAIJINGA ORENOIEWO KATSUDOKYOTENTO SURURASHII I?



異世界人が俺の家を 活動拠点とするらしい!?

ISEKAIJINGA ORENOMEWO KATSUDOKYOTENTO SURURASHII?

カイミザ♀パラレル本です。
以下要素を含みますのでご注意ください。

- ☑ 女体化
- ☑ パラレル設定
- ☑ ラッキースケベ



ハルト

元気に
しているか？

元気だよ
兄さん

食べ物の好き嫌いは
していないか？

うん

学校の友達とは
仲良くしているか？

うん

それから……

もうっ！
兄さんは心配
すぎだよ！

オービタルや父さん
だつて居てくれるんだし
僕は大丈夫だよ！

兄さんこそ……
一人暮らしには
もう慣れた？

しゅわ

通話中 — 天城ハルト

もっ

ちゃんと
ご飯食べてる？

兄さん僕のは
気にかけてくれるのに
自分のことは全然気に
しないから心配だよ

そうか……

ウウウ

ハルトサマ！
ソロソロ学校へ行く
才時間デアリマス！

あつ
ほんとだ！

じゃあ兄さん
またね！
いつてきます！

オービタル
あつ

04:10

04:10

いって
らっしゃい

ハルト……

コッ

虫か鳥でも
当たったか…?

カッ……

?





何だ…!?

なっ…

……

じ

貴様が
天城カイト
だな

そうだが……

ならば
良い
入るぞ

ストゥ

ア
ア
ストゥ

なっ……!



おい…
何を…

…ふむ
少々狭いが
悪くは無いな
綺麗に片付けも
されているようだ

よし
決めたぞ



今日から
ここが私の家だ

!?

なんだと!?



一体何のつもりだ!?
というかそもそも
貴様は何者だ?!
どうやって
ペランダまで
来たんだ!?

おお
そういえば
自己紹介が
まだだったな



……………???



我が名は
ミザエル!

バリアン世界
からの使者だ!

カン☆ コーン

私はいずれ訪れるで
あろうバリアン界の
崩壊に備え……

我々バリアン界の者が
人間界で生活出来るか
どうか調査に来たのだ

私の意思
ではない

銀河眼の時空竜が
貴様のことを
導き出したのだ

ツッコミたい部分は
多々あるが……
なぜ俺の元へ来た？

人間が理解出来る
言葉で説明を
してくれないか

調査と言えども
人間界で自力で暮らすには
かなりの労力を要する

そこで人間の家に住み
活動拠点とすれば効率
上がるのではないかと
ドルベと話したのだ

……ドルベ？

実家から離れた
大学とやらに通うため
この家で一人で暮らして
いるのだろうか？

というわけで時空竜に
私と相性の良い人間を
導き出して貰った結果
貴様が選ばれたのだ

相性
だと……!?

貴様のことは
よく知っているぞ
天城カイト

性格は真面目で冷静
幼い頃から弟の
世話をしてきたため
家事全般が得意……

人間には
上出来ではないか

というわけで
これから
世話になる

…待て

一度
ペランダへ出る

ムム?

どういう
意味だ?

…いいから
出る

これで
良いのか?

??

ズッ

なっ…!?

貴様何の
つもりだ!?

しばらく黙って話を
聞いていたがとても
俺には理解の出来る
内容では無くてな

異世界人だか
家出娘だか知らんが
他をあたってくれ

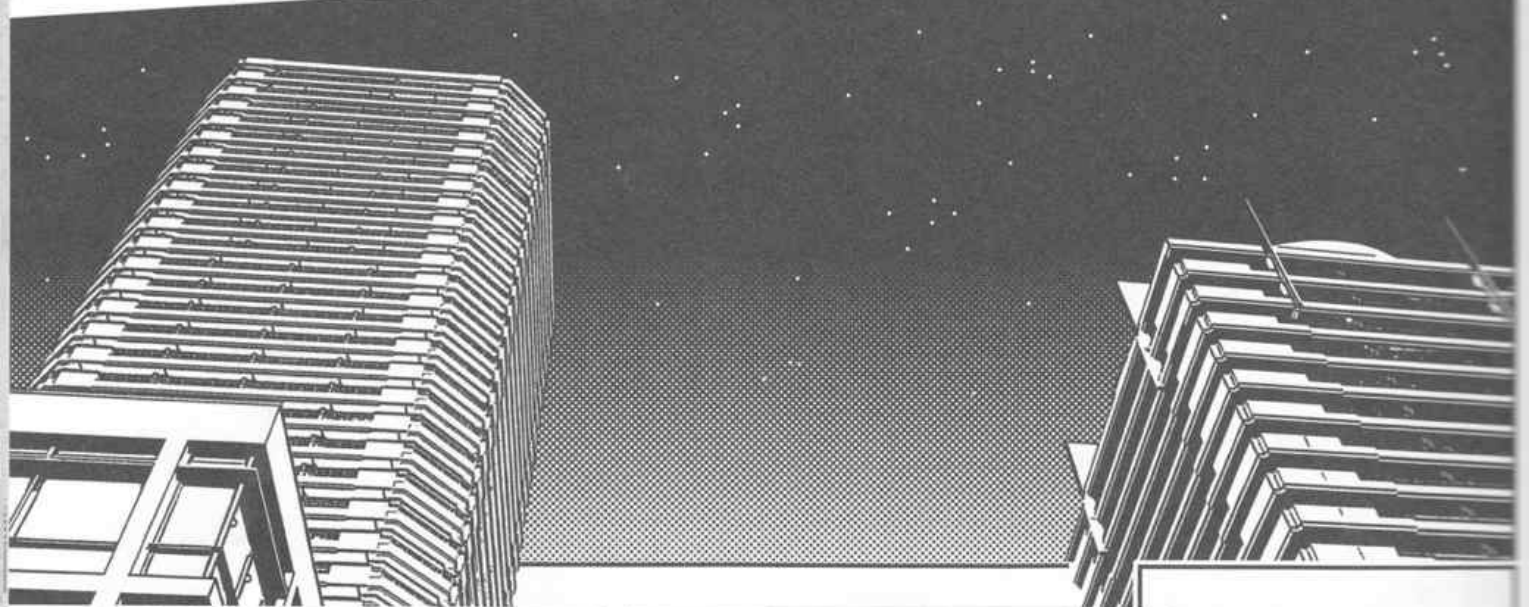
何だと…

俺は学生だ
普段は家を空けている
上に勉強で忙しいんだ
貴様に構っている
余裕などない

き…貴様は時空竜が
導き出した選ばれし
人間なのだぞ!?



知らん
そんなことは
俺の管轄外だ



朝のあれは一体
何だったんだ……



バリアン世界
からの使者だ！



我が名は
ミザエル！

すっかり暗く
なってしまった……

そろそろ夕飯でも
買いに行くか





本当に帰る
家がないのか？

ポタ



私が嘘を
ついているとでも
思うのか？

行くあてが無いのなら
異世界とやらにでも
帰れば良いだろうが



そういうわけ
にはいかない

生存できる
環境の確保は

我々バリアン界で生きる者に
とって重要なことなのだ



重要ならばなぜ
もう少し考えてから
行動をしない？

突然赤の他人に
押し掛けられても
許可できるわけが無い



どうやら貴様の
家に住むのは
難しいようだな

他のところを
探すでしょう

ガッ

はあ

そうしてくれ



ちやうど先ほど
他に良いところを
思い付いたのだ



…良い
ところ？

貴様の弟が
住む家だ

!!?

どとどとどうして
そうなる!?

フワッ
貴様と血の
繋がった者なら
私と相性が良い
可能性が高い



な……!

??

アツク
キッ

というわけで私は
そこへ向かう

無理を言っ
て
すまなかつたな

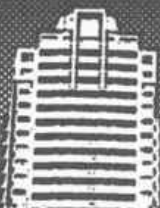


俺とハルトどちらかの
平穏な生活を選べと
いうことなのか…?

そんなもの……

答えは一つに
決まっている……!

待て!



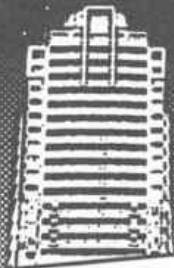
異世界人が俺の家を 活動拠点とするらしい!?

ISEKAIJINDA ORENOWO KATSUDOKYOTENTO SURURASHII?

調査とやらが
終わったら大人しく
異世界に帰ってくれ

良いか？

先ほども言ったが
お前に構っている
余裕などない



エレ



無論
そのつもりだ

結局こうなって
しまった…

カイト

はあ…

馴れ馴れ
しく呼ぶな

ならば…
人間

……
カイトで良い

カイト
腹が減った

…座って
待っている



なんだ
これは？

お湯を入れて
3分待てば出来る

お湯はいま
沸かしているから
もう少し待て

??



スツ



まさか!
これが私の食事
だと言うのか!?

ん



そうだが

与えられるだけ
良いだろう

文句があるのなら
出て行けば良い

カンコン

貴様!

料理が
得意では
なかった
のか!?

…確かに不得手
ではないが最近
は滅多に作らんな

カッ

ウッ

…?

ハルト…弟と一緒に
暮らしていた頃は

喜ぶ顔が見たくて
色々作ってはいたが

それもなくなって
しまったしな…

これ兄さんが
作ったの?

ああ

兄さんは
すごいね

おいしいよ



ハルト…

…なるほど
そういうわけか

ならば
こうしよう

明日からは
私の為に料理を
作れば良い

…は？

私の為に料理をすれば
貴様は他人に料理を
振舞う喜びを得られ

私の食欲も
満たされるだろう

人間とは助け合って
生きていくものだ
ドルベが言っていたが…

なるほど
こういうこと
だったのだな

絶句。

仕方が無いから
今日はこれで
我慢してやろう

明日から
よろしく頼むぞ
カイト！

……

頭が痛い…

疲れた……
さっさと風呂に入って
寝てしまいたい……

グッグッ……

は

ス

……

……おい
家出娘



ミザエルだ
先ほど名乗った
だろう

家出娘……

~~~~~

……ミザエル  
風呂が沸いたから  
入って来い

ドアを出て  
一番奥の左手だ

カイト

……何だ

人間界の風呂は  
勝手が分からん  
教えろ

カイト

お前は……

それが人に  
物を頼む  
態度か……

奴はハルトの部屋で寝かせれば良いか…

ハルトが泊まりに来た時用の部屋がある(アラク)

くっ……

ハルトに言えない秘密を作ってしまった……!

イメージ図

え…兄さん  
女の人と一緒に喜らしての…?

ハルト…

俺はなんて駄目な兄なんだ…!

そもそも奴は本当に異世界人なのか?

自分で設定を作り  
そう思い込んでいる  
ただの家出少女である  
可能性だってある

貴様は銀河眼が導き出した選ばれし人間なのだぞ!?

だがただの家出少女ならば面識の無い俺にこだわる必要もないのか…



だからと言って異世界人だと認めてしまうのも……

カイト!  
あがったぞ!

風呂は問題なく入れたか?

ああ!

ハリアン界の  
まのとは勝手が  
違うが…

人間界の  
風呂もなかなか  
良いものだな

む…  
どうした

ホカ  
ホカ

カ

キマ

○▲さk f 5じ f  
r か p w q □ r p k h -

……ツツ！  
待て！落ち着け！

なぜそのままの格好で  
出てくるんだ!!!?

落ち着いた方が  
良いのは貴様の方  
ではないのか

そんなことより  
カイト

顔が赤いぞ  
熱でもあるのか？

なっ…！

おい！  
待て…

俺に  
近づく…

カ

ズイ

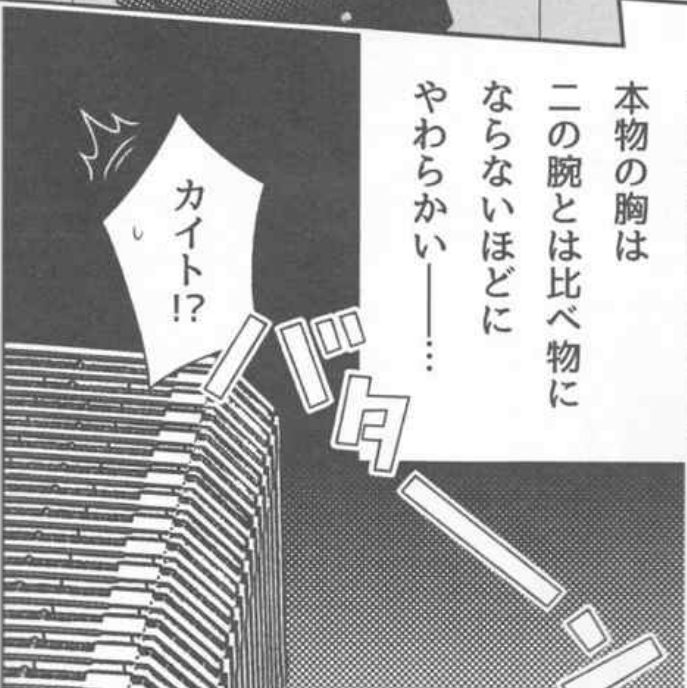


薄れゆく意識の中——  
天城カイトは中学時代に友人から  
言われた言葉を思い出していた



なあカイト  
知ってるか？

？



カイト!?

本物の胸は  
二の腕とは比べ物に  
ならないほどに  
やわらかい——…



胸って二の腕の  
柔らかさと  
同じなんだぜ！

二の腕だと…？  
フツ……

教えてやろう  
トーマス…



!!?

+



ん……

カイト  
気が付いたか

俺は……



やわらか  
かった

……  
もした……

ギョ……

全く……  
どうしたと  
言うのだ……

ムウ



ま……  
まさか俺は

貴様の膝の  
上でのびて  
いたのか……!?

そうだ

ぼ……

……  
……



そこまで  
言わんと  
分からんか

カン

置いておくだけで  
言っていたから  
使って良いのか  
分からなかった

コン

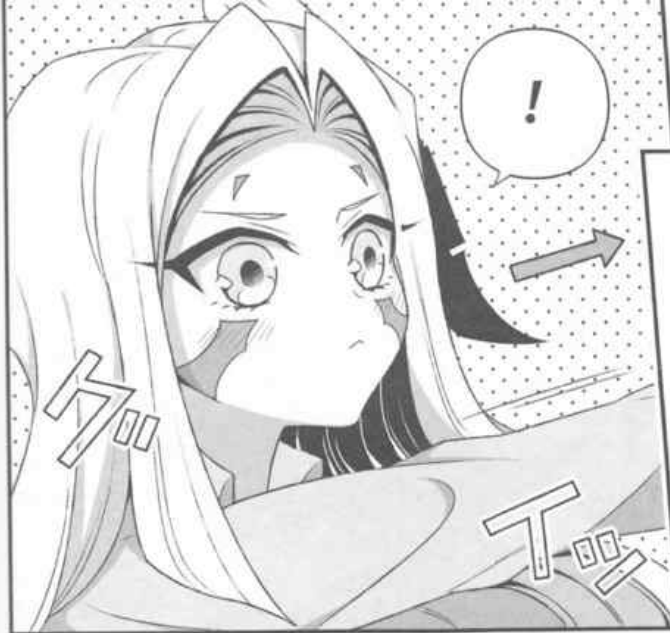


……風呂場の前の  
脱衣所に着替えを  
置いておいただろう

ああ

それは  
聞いたが







貴様喧嘩を  
売っているのか?!

風呂の入り方さえ  
分からない今のお前に

求めることなど  
無いという意味だ

協力したいという  
気があるのなら

一日でも早く  
人間界のことを  
覚えることだな

…カイト  
一つ聞いて  
良いか?

?

お前が用意した  
着替えが大きいせいか  
ずり落ちるのだが…  
どうにかならないか?

おっ

—こうして  
俺の穩やかなる  
日常は

この異世界人の  
訪問によって  
修復不可能と  
なるまでに崩壊した

おおお  
お前…!

下着は  
どうした!?

下着とは?

!!!

異世界人が俺の家を  
活動拠点とするらしい!?



はじめまして、こんにちは。あめこです。  
この度はお手にとってくださいありがとうございました。

1年前に発行しようとして挫折したものをリメイクしたお話でした。  
どうしても描きたかったお話だったので無事完成して本当によかったです。

最初は完成出来るかどうかばかり考えていたのですが、  
描いていくうちにそんな不安も吹き飛ばすくらい楽しく描けました。

ここまで長い漫画を描いたのは初めだったので苦戦しましたが、

この本を通して色々なことが勉強できた気がします。

今回の話の中での描きたいところは全部描けた気はしますが、

まだまだカイミザちゃんを描きたいという気持ちが強いです。

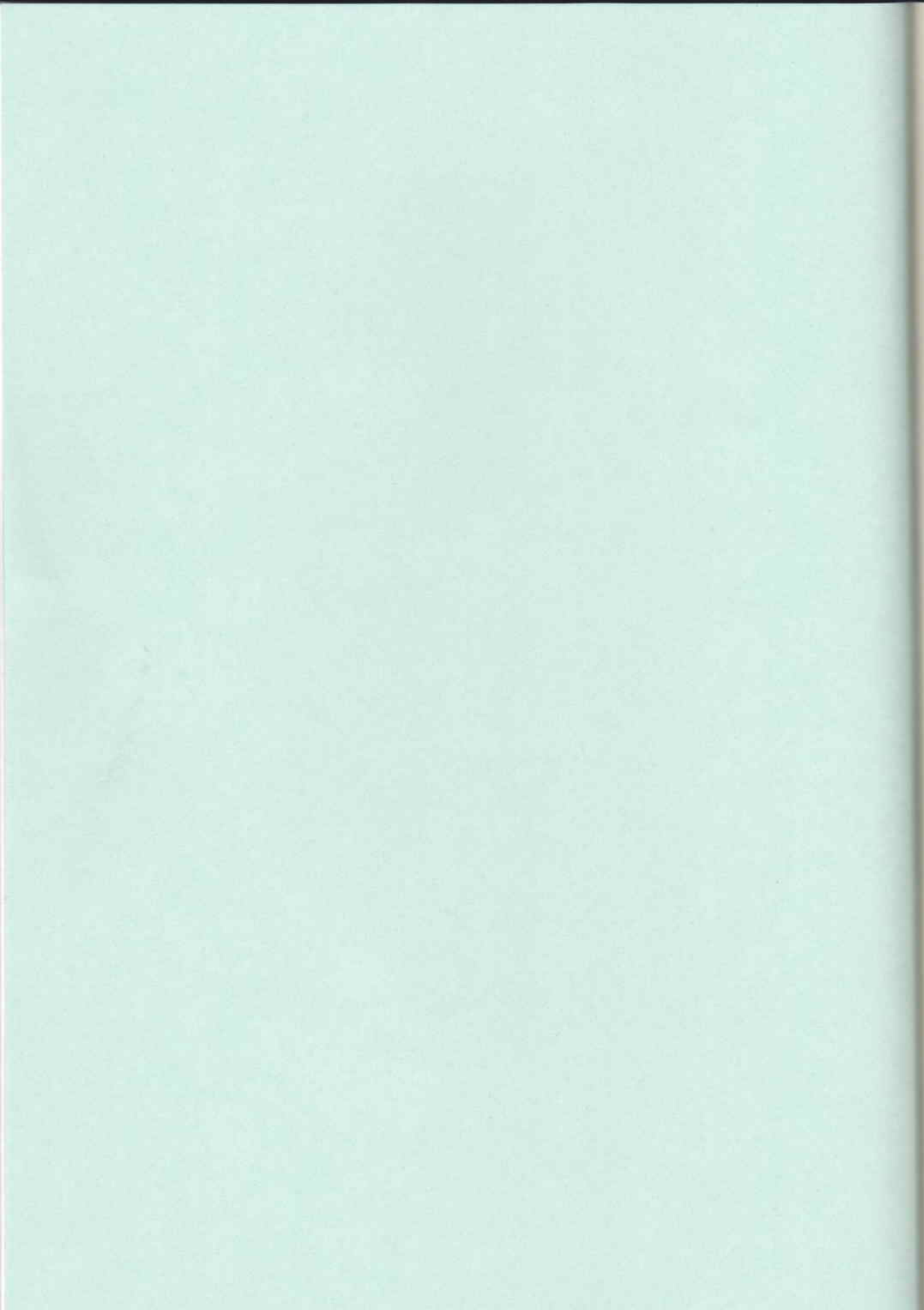
本になるかは分かりませんがまた何かしらの形式で、  
この本の後のカイミザちゃんのあれやこれも描きたいと思います。

この本を読んで少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

ここまで読んでくださりありがとうございました！

|        |                                                                     |
|--------|---------------------------------------------------------------------|
| issue  | 2015.03.08                                                          |
| writer | あめこ(omp!)                                                           |
| mail   | msr0018@gmail.com                                                   |
| web    | <a href="http://151cek.web.fc2.com/">http://151cek.web.fc2.com/</a> |
| print  | 金沢印刷様                                                               |

この本に関する無断転載・複写・複製・  
オークションへの出品はご遠慮ください。





# 異世界人が俺の家を 活動拠点とするらしい!?

ISEKAIJINGA ORENOIEWO KATSUDOKYOTENTO SURURASHII!?



ISEKAIJINGA ORENOIEWO  
KATSUDOKYOTENTO SURURASHII !?  
YGOZEXAL unofficial fanbook  
presented by omp!

